

このような症状で お困りではないですか？

●ラケットやバットを振るときに手首が痛い

レントゲンでは問題ないと言われたが…

●腰痛が続いている

プレーできるがパフォーマンスが上がらない

●手術はしたが、痛みが残る

なかなか復帰に至らない…

●肩の痛みがある

手術は考えていないが、もう
少し何とかしたい



えびえ記念病院整形外科医
松村 健一先生

【資格・経歴】

- ・滋賀医科大学卒業
- ・日本体育協会公認スポーツドクター
- ・堺ブレイザーズチームドクター
- ・日本ハンドボール協会医事委員
- ・令和7年度日本オリンピック委員会強化スタッフ
- ・岩谷産業陸上部チームドクター
- ・元オリンピックバファローズチームドクター

スポーツ整形外科医の松村です。

【症状例と対応疾患】



21年目の医師で、スポーツ整形外科に2012年より13年間携わってきました。

オリンピック選手やプロスポーツ選手の治療や手術に関与するだけでなく、代表チームの海外遠征やプロ・アマのキャンプ帯同・合宿などにも参加し、スポーツ選手と密に関わってきました。

これまでの経験より、怪我や痛みを治すことも重要ですが、

そこに至るまでの原因や怪我が治ってから復帰までのプロセスなども同様もしくはそれ以上に重要であると考えています。

スポーツの背景や個人の置かれた環境も含めてアプローチすることが求められており、ただ怪我を治すことだけが

スポーツ整形外科ではないと自負しております。



スポーツ整形外科医による健康相談は毎月第3木曜日です。

詳しくは保健室まで問い合わせるか保健室HPにてご確認ください。

【お問い合わせ先】

0725-92-7614 (平日9:10~16:40)

メール:hoken@andrew.ac.jp